

# 「社会資本の適切な維持管理(アセットマネジメント)の推進」

(H24. 6～)

【幹 事】 大分県 土木建築部 建設政策課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

## 目的

社会資本の維持管理手法(アセットマネジメント)に関する調査・研究や情報交換を行い、九州全体の社会資本の適切な維持管理を推進する



橋梁の損傷



トンネルの損傷・崩落



舗装のひび割れ

## 取組内容と成果

### 〔取組内容〕

#### 1. 担当者会議

- H24. 10～H27. 5までに計5回の担当者会議を開催
- 点検・診断の取組や長寿命化計画の策定状況について意見交換
- 維持管理に係る予算・制度面の課題について協議
- 長寿命化計画策定上の技術的課題について意見交換

#### 2. 特別決議への意見反映

- 財政支援の拡充を特別決議に反映させるよう要請
- 河川や港湾施設の維持管理・更新に係る補助制度の対象を小規模な施設にまで拡大すること
- 修繕事業の一環として実施する点検の自治体負担分を起債対象とするなど、財政支援の拡充を図ること
- ☆H25. 11 九州地方知事会長が特別決議を自民党本部、国土交通省等へ要請
- ☆H26. 4 点検に要する経費を一部起債対象とする総務省通知



自民党高市政調会長への要請状況

〔成果1〕点検の自治体負担経費が一部起債対象となり、特別決議の要請が反映された

〔成果2〕長寿命化計画の先進事例や新技術の導入など、技術情報の意見交換を行い、各県が進める長寿命化計画の策定等に反映され、アセットマネジメントの取組の進捗が図られた



トンネル点検時にレーザー等を使い劣化箇所を効率的に診断

スマートフォンを用いた道路舗装点検の試行

新技術の導入などを踏まえたアセットマネジメントの推進

## 今後の課題・取組

- ・適切に維持管理・更新を実施していくための予算を継続的に確保するとともに、維持管理・更新に係る技術開発や技術者の育成を推進するよう、引き続き要請する必要がある
- ・政策連合として一定の成果はあったものの、社会資本の老朽化対策を継続的に推進するために、今後の法改正や技術開発の動向を注視しながら、情報の共有と活用を図るため、「九州ブロック・アセットマネジメント担当者会議(仮称)」を年1回以上開催していく

## 〔成果1〕 点検の自治体負担に対する起債充当の一部拡充

- 【課題】 ○ 点検の自治体負担に起債を充てることが出来ないため、すべて一般財源を充当  
○ 厳しい財政状況の中、老朽化が進むインフラの点検を継続することが困難

【要請】 平成25年11月 九州知事会長が特別決議を国土交通省等へ要請  
「社会資本の老朽化対策 ～中略～ 点検に係る交付金の補助率を嵩上げするとともに、修繕事業の一環として実施する点検の自治体負担分を起債対象とするなど、財政支援の拡充を図ること。」

【成果】 平成26年 4月 総務副大臣から通知文書発出 「平成26年度地方債同意等基準運用要綱について」  
「(5)既存施設の点検・調査等に要する経費については、～中略～ 原則として当該年度に施設の建設事業を行うもの又は次年度に施設の建設事業が確実に行われる見込みのあるものについて、施設の建設事業と一体の事業として該当の事業債の対象とするものであること。」



## 〔成果2〕 先進的な事例や新技術などを踏まえたアセットマネジメントの推進

【成果①】 長寿命化計画の策定を先進的に進めている県の事例発表から、策定を行う上での課題や改善点について意見交換を行い、各県が進める**長寿命化計画の策定等に先進県の取組が反映**され、アセットマネジメントの取組の進捗が図られた  
 (例えば、長寿命化計画と合わせて、現場での点検の具体的な方法を記載した補修マニュアルを作成)

【成果②】 新技術や開発中の技術について、今後の点検・診断や補修に導入が可能であるか等の意見交換を行うことにより、各県において新技術の導入を検討し、**長寿命化計画策定後の維持管理・更新が効率的に推進**され、**計画の実効性が高まるとともに、今後のアセットマネジメントの取組のスパイラルアップ**が期待される  
 (例えば、車両走行型検査技術(トンネル点検の効率化)、スマートフォンを用いた道路舗装点検の試行)

### 政策連合による取組の成果

